

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4290500398		
法人名	社会福祉法人 恵光会		
事業所名	グループホーム東大村		
所在地	長崎県大村市東大村2丁目1616番地3		
自己評価作成日	令和5年8月21日	評価結果市町村受理日	令和5年12月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構		
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1		
訪問調査日	令和5年10月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

令和4年4月1日開設。協力病院は、中田外科胃腸科2回/月往診。前田皮膚科2回/月往診。山口耳鼻科1回/3月往診。野島歯科1回/月往診。医療的支援は往診で対応し、利用者様の通院負担の軽減を図っている。また、令和5年7月より久原薬局の居宅療養管理指導を導入し服薬外用薬は薬剤師が薬箱にセットした薬箱を配達していただく事で職員の服薬セット負担の軽減と誤薬防止が図れている。行事については、月行事季節行事など計画的に行うことにより、利用者がマンネリ化にならぬよう支援している。スタッフは、法人内のグループホーム慈恵荘との移動を行い勤務し支援を行っており、介護経験豊富なスタッフで支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

令和4年度より法人敷地内の有料老人ホームから体制を変え、グループホームとしての運営を開始した。ホームの周囲は緑に囲まれ、眼下には大村湾を眺める事ができる空間がある。系列のグループホームから異動した職員が新規採用職員に対し、大切にしている思いを伝え、後進の人材育成に繋げている。職員間でも円滑なコミュニケーションがとれており、ユニット間で行事や外出先を検討するなど職員のアイディアが活かされている。課題が生じた際には職員全員で対応方法を考えるなど、風通しの良い関係性を構築しており、入居者との日常会話の中から入居者自身が持つ力を見出し、調理や行事で入居者が持つ力を発揮する場面がある。現在も感染症予防で外出にも注意を払う現状にあるが、職員はできる範囲で入居者と外の空気に触れ共に楽しみたいと今後の生活に期待を語っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	令和4年開設。法人内移動により介護経験者が従事者の為、法人開設時の50年前からの理念である「至誠天に通ず」を、利用者・家族・職員等にも理解しやすいように「まごころと思いやり」という言葉で掲示し、接遇面でも意識して取り組んでいる	令和4年開設。法人内移動により介護経験者が従事者の為、法人開設時の51年前からの理念である「至誠天に通ず」を、利用者・家族・職員等にも理解しやすいように「まごころと思いやり」という言葉で掲示し、接遇面でも意識して取り組んでいる	ホーム理念である「まごころと思いやり」は、法人内グループホームより異動となった職員よりこれまでのスキルや経験を新規採用職員へ伝え、後進の育成に繋げている。職員間で入居者の尊厳を大切に考えながら仕事に対する心構えを整え、生活の場における入居者や家族を主体としたケアの実践に繋がっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会には法人として介入し、総会などには管理者が出席しているため、同様の交流ができる。催し物や行事などは町内会会長より、直接連絡を頂いている。	町内会には法人として介入し、総会などには管理者が出席しているため、同様の交流ができる。催し物や行事などは町内会会長より、直接連絡を頂いている。	法人として地域との関りを持ち、町内の草刈りや行事への参加を行っている。今年度は近隣の小学校より運動会への誘いを受け、入居者と共に地域行事へ参加し、賑やかな雰囲気を楽しんだ。管理者と地域が、顔が見える関係性を構築することで地域の情報を集約し、法人としても地域の困りごとに専門性を持った関わりを行う姿勢で取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症に関しては、運営推進会議を通して話を行っている。大村市の認知症施策の認知症ほっとライン事業に参画し、地域住民に伝えている。	認知症に関しては、運営推進会議を通して話を行っている。大村市の認知症施策の認知症ほっとライン事業に参画し、地域住民に伝えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事内容の取り組みや利用者の状況報告を行いサービス向上に臨んでいる。地域住民は町内会会長、民生委員、老人会会長が構成メンバーになっていただき、顔の見える関係性を構築し活発な意見交換を行っている。	行事内容の取り組みや利用者の状況報告を行いサービス向上に臨んでいる。地域住民は町内会会長、民生委員、老人会会長が構成メンバーになっていただき、顔の見える関係性を構築し活発な意見交換を行っている。	運営推進会議には町内会長や老人会長、包括支援センター職員等の参加があり、それぞれの視点から活発な意見が出されている。推進会議で配布される資料や会議後の議事録には、ホームの運営状況や質疑応答が分かりやすく記載され運営の透明性を図っている。参加者の意見にも丁寧な回答がなされ、検討された内容は運営に活かされている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議で、グループホームの運営状況と活動状況を報告し、書面や電話で助言を頂いている。管理者は生活支援コーディネーターに就き地域の情報交換に取り組んでいる。	運営推進会議で、グループホームの運営状況と活動状況を報告し、書面や電話で助言を頂いている。管理者は生活支援コーディネーターに就き地域の情報交換に取り組んでいる。	管理者は行政と共に地域の認知症サポーター養成の周知を行い、地域が直面している課題解決に向け行政と共に取り組んでいる。運営推進会議で民生委員より地域の独居高齢者の生活について相談を受け、専門機関に繋いだ事例もある。地域の困りごとに住民と共に解決していく姿勢で取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会を行い、運営推進会議(身体拘束ゼロ推進会)で報告し、身体拘束について助言を頂いている。	身体拘束についての勉強会を行い、運営推進会議(身体拘束ゼロ推進会)で報告し、身体拘束について助言を頂いている。	身体拘束適正化委員会は推進会議と同時開催され、身体拘束をしない取り組みが話し合われている。入居者の行動障害を発症するまでの状況を把握し、職員のアプローチについて共有がなされている。職員は常に自分の支援が身体拘束に繋がっていないか振り返りを行い、行動制限に繋がらないようにするための話し合いが持たれている。	令和3年度の介護報酬改定に伴い、運営規程に虐待防止のための措置に関する事項の記載が求められており、今後整備を行うと共に、組織内の体制を再度確認する取り組みに期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	内部・外部研修会への参加を行っている。	部・外部研修会への参加を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者の中に成年後見制度を利用している方がいらっしゃる。職員の把握も含め情報共有を図っている。	利用者の中に成年後見制度を利用している方がいらっしゃる。職員の把握も含め情報共有を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前の契約については施設でできることとできない事の説明を行い、質問に関しては丁寧に説明している。	入居前の契約については施設でできることとできない事の説明を行い、質問に関しては丁寧に説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族からの要望は適宜受け、その都度職員へ伝えている。必要な事柄については運営推進会議で伝えている。	利用者や家族からの要望は適宜受け、その都度職員へ伝えている。必要な事柄については運営推進会議で伝えている。	職員は入居者の日々の状況を把握し、面会時や電話でのやり取りで物品購入や支援の内容等、本人や家族の希望を確認している。職員は分かりやすい言葉で家族に現状を伝え、思いを引き出す工夫を行っている。「本人や家族はどうして欲しいのか」を念頭に置き、職員はできるだけ本人をみてケアしていこうとの思いで支援に繋げている。	電話や面会時に家族と暮らしぶりの話し合いを行っているとの事であるが、短時間の玄関フロアの面会に制限され本人の居室での暮らしぶりが分かりにくい。ホーム便りが無いことから家族への運営状況への理解に乏しい状況が窺われる。運営推進会議の議事録の配布などでホームの理解に繋げる今後の取り組みに期待する。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの提案については日々主任と副主任が連携を図り、管理者へ報告相談を行い実施につなげている。定期的に職員面談を行っている。	職員からの提案については日々主任と副主任が連携を図り、管理者へ報告相談を行い実施につなげている。定期的に職員面談を行っている。	職員間で風通しの良い関係性が構築され、困り事への対応も職員間で話し合い解決していく雰囲気がある。入居者への対応等トラブル発生時にも迅速に連携して対応し、行事や支援についてユニット間での良い刺激になることも多く、互いに新しい行事やアイデアが生まれ運営に活かされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望公休の取得、有給休暇の取得。職員の希望に添うように務めている。各自の家庭環境や健康状態の把握に努め働きやすい環境作りを行っている。	希望公休の取得、有給休暇の取得。職員の希望に添うように務めている。各自の家庭環境や健康状態の把握に努め働きやすい環境作りを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各階にグループホーム勤務経験者を配置しケアの向上に努めている。施設内の勉強会については担当制を用いて全職員で取り組むように行っている。	各階にグループホーム勤務経験者を配置しケアの向上に努めている。施設内の勉強会については担当制を用いて全職員で取り組むように行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症グループホーム連絡協議会の介入を行い、事例検討会の資料については職員へ周知し、情報共有を図っている。	認知症グループホーム連絡協議会の介入を行い、事例検討会の資料については職員へ周知し、情報共有を図っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを行う際に生活歴や家族構成の聞き取りを行い、会話の中で、昔の仕事や家族の話題を話すことで信頼関係の構築に努めている。「パーソンセンタードケア」という考え方に基づいた認知症ケアに努めている。	アセスメントを行う際に生活歴や家族構成の聞き取りを行い、会話の中で、昔の仕事や家族の話題を話すことで信頼関係の構築に努めている。「パーソンセンタードケア」という考え方に基づいた認知症ケアに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望や困りごとには、個別支援に反映できるように、職員へ伝達し、全職員取組み、適宜情報提供を行っている。	家族の要望や困りごとには、個別支援に反映できるように、職員へ伝達し、全職員取組み、適宜情報提供を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	各々の利用者の身体面、精神面の観察を行い、適宜サービス内容を変更している。	各々の利用者の身体面、精神面の観察を行い、適宜サービス内容を変更している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	各利用者の残存機能が活かせるように茶碗洗い、茶碗拭き、洗濯物たたみ、洗濯物干し、調理などの作業に参加してもらえるように日々努力している。	各利用者の残存機能が活かせるように茶碗洗い、茶碗拭き、洗濯物たたみ、洗濯物干し、調理などの作業に参加してもらえるように日々努力している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族写真や手紙など見る機会を意図的に作り、家族との関係性を深めている。定期的な通院は家族へお願いしている。	家族写真や手紙など見る機会を意図的に作り、家族との関係性を深めている。定期的な通院は家族へお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	会話の中で昔利用していたスーパーや食べ物屋さんなどの話題を用いてつながりを深めている。馴染みの場所をドライブする機会を作っている。	会話の中で昔利用していたスーパーや食べ物屋さんなどの話題を用いてつながりを深めている。馴染みの場所をドライブする機会を作っている。	入居者との日常会話の中から本人の大切にしてきた人や場所を把握し、家族の協力を得ながら家族行事への参加や外出に繋げている。今年度は入居前の住まいでの友人の面会が叶った事例もあった。ドライブの途中で自分が生まれた場所を眺み、昔話を引き出すなど、管理者は今後も更にその人を知る関わりを行っていきたいと考えている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の席やレクリエーションの席などは気の合う仲間の近くに誘導し会話ができる雰囲気を作っている。また、特定利用者との関わりにならないように適宜席替えも行っている。	食事の席やレクリエーションの席などは気の合う仲間の近くに誘導し会話ができる雰囲気を作っている。また、特定利用者との関わりにならないように適宜席替えも行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も法人内の施設であれば面会に行っている。家族からの問い合わせには丁寧に対応している。	退居後も法人内の施設であれば面会に行っている。家族からの問い合わせには丁寧に対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活習慣の把握に努め、起床時間や就寝時間など今までの生活状況に合わせるように取り組んでいる。嗜好品は可能な限り持参していただいている。	生活習慣の把握に努め、起床時間や就寝時間など今までの生活状況に合わせるように取り組んでいる。嗜好品は可能な限り持参していただいている。	生活パターン表でその方の日課を知り、入居者との日常会話で出てきた言葉を手掛かりに思いや好きな事の把握、情報共有に努めている。入居者の言葉から手作業が好きな事が分かり、編み物を生活に取り入れ毛糸を準備する事例があった。生活での変化や気づきは必ずその日の記録に残し、職員間で支援の統一が図られている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の部屋は、自宅で使い慣れた物を持参していただき、在宅生活の延長ができるように勤めている。	利用者の部屋は、自宅で使い慣れた物を持参していただき、在宅生活の延長ができるように勤めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者のできる事を探し、残存機能が最大限引き出せるように勤めている。	利用者のできる事を探し、残存機能が最大限引き出せるように勤めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の際は本人の意向と家族の想いをヒントにアセスメントを行いBS法を用いることで意見を出しやすい雰囲気を行い計画書に反映している。	サービス担当者会議の際は本人の意向と家族の想いをヒントにアセスメントを行いBS法を用いることで意見を出しやすい雰囲気を行い計画書に反映している。	計画作成時には、本人や家族の意向を確認し、職員が自由に意見を出し合い本人が前向きに取り組みやすい内容で作成されている。個別記録には計画内容に沿った記述が残され、実践状況の確認ができるものとなっている。記録をもとに本人の心身の状態を把握し、半年毎に目標や内容の見直しを行い、機能維持や向上に繋げている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録、医療情報、介護情報ファイルの作成を行い、毎日の引継ぎと業務連絡等で情報共有を図っている。	個別のケース記録、医療情報、介護情報ファイルの作成を行い、毎日の引継ぎと業務連絡等で情報共有を図っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別ケアの意識を持ち一人一人に合った支援に努めている。	個別ケアの意識を持ち一人一人に合った支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	他の施設との連携を図り、必要な時は住み替えができるように行っている。	他の施設との連携を図り、必要な時は住み替えができるように行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みのかかりつけ医の継続のほか、内科協力医の(月2回)の往診、歯科(月1回)・皮膚科(月2回)・耳鼻科(3月1回)の往診・通院など、状態に応じて対応している	馴染みのかかりつけ医の継続のほか、内科協力医の(月2回)の往診、歯科(月1回)・皮膚科(月2回)・耳鼻科(3月1回)の往診・通院など、状態に応じて対応している	週2・3回の頻度で法人施設より看護師の訪問があり、心身の確認や助言を受ける機会がある。職員は細かな状態変化に注意を払い、病気の早期発見や、病状が悪化しないよう努めている。今年度より、居宅療養管理指導を導入し、薬剤師による薬の管理や服薬タイミングの相談、また減薬に繋げる取り組みもなされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の特別養護老人ホームの看護師と連携を図り、医療的なケアの助言を受け、支援に反映している。	法人内の特別養護老人ホームの看護師と連携を図り、医療的なケアの助言を受け、支援に反映している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は本人の事前情報を提供し、情報共有を図っており、退院時は本人面会を行い、今後のリスクやフォロー等の助言を頂きいつでも相談できる体制を整えている。	入院時は本人の事前情報を提供し、情報共有を図っており、退院時は本人面会を行い、今後のリスクやフォロー等の助言を頂きいつでも相談できる体制を整えている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居説明時より終末期に至るまでの説明と同時に家族の意向確認が適宜できるように互いに相談し、よき方向に支援ができるように勤めている。	入居説明時より終末期に至るまでの説明と同時に家族の意向確認が適宜できるように互いに相談し、よき方向に支援ができるように勤めている。	看取りの指針を準備し、入居時や病状の変化ごとに家族の意向を確認している。系列の施設への移り住みを選択する家族もあるが、希望があれば主治医や家族の協力を得ながらホームでの看取りにも対応している。その方が口にしやすい食事や安楽な生活環境を整え、他の入居者と日常生活を送り不安感を軽減しながら安らかな看取り支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	同法人内の看護師より、急変時や事故発生時の対応について、助言をもらい、マニュアル更新を行っている。緊急時対応シートを作成している。	同法人内の看護師より、急変時や事故発生時の対応について、助言をもらい、マニュアル更新を行っている。緊急時対応シートを作成している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	地域防災協力体制がある。施設内はオール電化設置とし、火災防止に努めている。防災グッズの確保。月1回の防災自主点検を実施し、全職員が災害時に備え意識している。	地域防災協力体制がある。施設内はオール電化設置とし、火災防止に努めている。防災グッズの確保。月2回の防災自主点検を実施し、全職員が災害時に備え意識している。	定期的な避難訓練や風水害訓練を実施し、手順の確認や有事の際に迅速に対応できるよう取り組んでいる。今年度は大雨を想定し、停電時の調理や入居者が防災食を口に確認する機会を設けた。有事の際には下階職員との連携や法人内施設職員による応援体制もあり、入居者の安全や被害の軽減に努めている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者と呼ぶ際や説明するときは、名前を呼び個人の尊厳に留意している。選択肢のある声掛け、クッション言葉を使うように心がけている。	利用者と呼ぶ際や説明するときは、名前を呼び個人の尊厳に留意している。選択肢のある声掛け、クッション言葉を使うように心がけている。	今年度は言葉遣いをテーマとした勉強会を実施し、入居者への関わり方や職員の身だしなみについて振り返る機会を設けた。職員は入居者へ分かりやすい言葉での声掛けを意識し、その方の言葉や答えを引き出す工夫をしている。職員は入居者の役割や好きなことを探し、その人らしさや尊厳を大切にしたい関わりに努めている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	新聞や雑誌など読む習慣がある方は同じものを購入していただきゆっくり見ていただいている。TVは本人が好まれる番組が見れるように心がけている。	新聞や雑誌など読む習慣がある方は同じものを購入していただきゆっくり見ていただいている。TVは本人が好まれる番組が見れるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今までの生活習慣の延長で生活できるように環境を整えている。	今までの生活習慣の延長で生活できるように環境を整えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2月に1回「おしゃれの日。(化粧の日)」を開催し化粧する機会を意図的に作っている。男性利用者は髭剃りや整髪、眉を整えるなど鏡をみながら、身だしなみができるように支援している。普段着とパジャマは選択できる方は自分で選んでいただいている。	2月に2回「おしゃれの日。(化粧の日)」を開催し化粧する機会を意図的に作っている。男性利用者は髭剃りや整髪、眉を整えるなど鏡をみながら、身だしなみができるように支援している。普段着とパジャマは選択できる方は自分で選んでいただいている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事提供の際にはメニューの説明を行い、食事意欲を引き出している。後かたづけ、茶碗拭きなどは交代制で行っている。手作りおやつのある際は利用者と一緒に作っている。	食事提供の際にはメニューの説明を行い、食事意欲を引き出している。後かたづけ、茶碗拭きなどは交代制で行っている。手作りおやつのある際は利用者と一緒に作っている。	日常会話から食への関心を引き出し、じゃがいもの皮むきやみそ汁の調理など入居者の力の発揮がなされている。おやつの日には職員のアイデアと工夫を凝らし、季節感や調理の過程を職員と楽しんでいる。入居者のリクエスト食に対応することもあり、今年度は地域消費のクーポンを活用した寿司の準備で入居者より大変喜ばれた。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事と水分量については毎日記録に残し、日々の把握に努めている。飲水量の少ない利用者には好んで飲んでもらえるものを随時検討し提供している。	食事と水分量については毎日記録に残し、日々の把握に努めている。飲水量の少ない利用者には好んで飲んでもらえるものを随時検討し提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアと口腔ケア後の確認と一部介助を行いを行い、口腔内の衛生管理に努めている。また、1回/月歯科往診の際は全利用者の口腔内経過観察、個別でブラッシング指導と歯ブラシ、舌ブラシ歯間ブラシなどの購入を行っている。	毎食後の口腔ケアと口腔ケア後の確認と一部介助を行いを行い、口腔内の衛生管理に努めている。また、1回/月歯科往診の際は全利用者の口腔内経過観察、個別でブラッシング指導と歯ブラシ、舌ブラシ歯間ブラシなどの購入を行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツ販売業者との連携により、個別対応ができるように試供品を提供してもらい、おむつの当て方の助言を受けている。また、排泄表の記録と時間誘導を行い、失禁防止に留意している。	オムツ販売業者との連携により、個別対応ができるように試供品を提供してもらい、おむつの当て方の助言を受けている。また、排泄表の記録と時間誘導を行い、失禁防止に留意している。	職員は入居者の排泄の自立を目指し、オムツ販売業者と共にその方にあったパットやリハビリパンツを検討している。その方の体型の合わせた衣類や下着を準備することで引き上げ下げが自力ででき、できるだけ自力で行えるよう支援している。排泄チェック表でパターンを把握し、排泄の失敗がないよう声掛け誘導を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常生活の中で動く機会を作り、便秘症については主治医の指示のもと整腸剤や下剤を調整し、便秘にならないように心がけている。	日常生活の中で動く機会を作り、便秘症については主治医の指示のもと整腸剤や下剤を調整し、便秘にならないように心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者の希望と生活習慣に合わせて対応している。お湯の温度も利用者の好みに合わせ対応している。	利用者の希望と生活習慣に合わせて対応している。お湯の温度も利用者の好みに合わせ対応している。	週2・3回の入浴日の設定があるが、本人の体調や本人の好きなタイミングでの入浴も可能である。入浴を拒む入居者へは「着替えの日」と言葉を変え、抵抗なく入浴につながる言葉かけの工夫がある。一番風呂や午後を希望する入居者には本人のタイミングに合わせた柔軟な対応がなされ、安心して入浴できるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡希望の利用者や横になりたいタイミングの利用者には、部屋に誘導し休んでいただいている。(昼夜逆転にならないようにメリハリをつけている)	午睡希望の利用者や横になりたいタイミングの利用者には、部屋に誘導し休んでいただいている。(昼夜逆転にならないようにメリハリをつけている)		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局より薬事情報をもらい、職員で把握している。薬を受け取る際に注意点を尋ねている。	薬局より薬事情報をもらい、職員で把握している。薬を受け取る際に注意点を尋ねている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いを行っていただくときには「お願いします。」お手伝いが終わった後は「ありがとうございました。」と感謝の気持ちを毎回伝えている。利用者がやりたいもの探しを常に行っている。	お手伝いを行っていただくときには「お願いします。」お手伝いが終わった後は「ありがとうございました。」と感謝の気持ちを毎回伝えている。利用者がやりたいもの探しを常に行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍が5類になったとはいえ感染状況は予断を許さない為、ホーム周辺の散歩とドライブを行っている。	コロナ禍が5類になったとはいえ感染状況は予断を許さない為、ホーム周辺の散歩とドライブを行っている。	コロナ禍から第5類へ移行し、徐々に選挙や買い物に出かけるなど、入居者の意向を確認し外出する機会を増やしている。敷地内には栗の木等の植栽も多く、季節を感じながらの外気浴も可能である。家族行事へ出かける方もあり、職員は家族との生活の継続ができるよう外出予定には身なりや準備を整え外出支援に繋げている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望者には家族了解のもと現金を手元に持っている。	希望者には家族了解のもと現金を手元に持っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	面会制限の為、電話での対応は行っている。暑中見舞いは行事の写真とともに郵送した。	面会制限の為、電話での対応は行っている。暑中見舞いは行事の写真とともに郵送した。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁画は春夏秋冬を貼り季節感を出している。空調などは室温計を見ながら適宜温度調整を行っている。季節の花を飾っている。	壁画は春夏秋冬を貼り季節感を出している。空調などは室温計を見ながら適宜温度調整を行っている。季節の花を飾っている。	整理整頓された共用部分は清潔が保たれ、車いす使用者も自由に行動できる空間が保たれている。窓からは大村湾を眺め、廊下に設置されたベンチでは入居者が会話を楽しむ場面もある。季節を感じる飾りつけは鮮やかな色紙を使用し、職員の工夫やアイデアが凝らされている。丁寧に飾りつけされた入居者の作品は家族の目を楽しませるものにもなっている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:)	実践状況(ユニット名:)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや家具調の椅子を設置し、自由に使うことが出来るように行っている。また、利用者が居室に行きたいときには誘導し、一人の空間ができるように行っている。	ソファや家具調の椅子を設置し、自由に使うことが出来るように行っている。また、利用者が居室に行きたいときには誘導し、一人の空間ができるように行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた物を持参していただき、本人が見えるところに置いている。家族の写真など部屋に飾っていただいている。	自宅で使い慣れた物を持参していただき、本人が見えるところに置いている。家族の写真など部屋に飾っていただいている。	明るい日差しが差し込む居室は職員の手入れによって清潔が保たれ、家族の写真や作品が丁寧に飾られその人らしい居室作りができています。使い慣れたテーブルや寝具の持ち込みもあり、入居者が自力で居室内の手入れをするなど入居者が生活に参加し居心地の良い空間づくりがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内は整理整頓を行い、自由に動く事ができるよう取り組んでいる。お風呂場に手すりを増設し洗面台は棚を設置し使いやすい閑居を作っている。	施設内は整理整頓を行い、自由に動く事ができるよう取り組んでいる。お風呂場に手すりを増設し洗面台は棚を設置し使いやすい閑居を作っている。		